

第 1 4 回 長 崎 県 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 要 項

(第 3 6 回 全 日 本 F T 大 会 同 等 記 録 会 予 選 会)

- 【 1 】 名 称 第 1 4 回 長 崎 県 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会
- 【 2 】 主 催 長 崎 県 テ コ ン ド ー 連 盟 会 長 廣 川 禎 教
- 【 3 】 後 援 日 本 テ コ ン ド ー 協 会 (J T A)
- 【 4 】 目 的

- 1) ルールを尊ぶ J T A テ コ ン ド ー の 試 合 を 通 じ て 健 全 な 精 神 涵 養 及 び 体 力 増 進 に 貢 献 す る
- 2) J T A テ コ ン ド ー 愛 好 家 の 親 睦 を 目 的 と す る
- 3) 信 義 と 礼 儀 を 重 ん じ る 日 本 テ コ ン ド ー を 通 じ た 社 会 教 育 の 意 義 を 高 め る

【 5 】 開 催 日

2 0 2 5 年 6 月 2 2 日 (日) 1 3 : 0 0 開 始 予 定

- 1 0 : 0 0 武 道 館 開 場 ・ 設 営
- 1 2 : 0 0 第 1 5 2 回 夏 季 昇 段 ・ 昇 級 審 査 会 、 第 1 回 師 範 代 資 格 審 査
- 1 3 : 0 0 開 会 式 (予 定)
- 1 5 : 0 0 表 彰 式 (予 定) 終 了 後 片 づ け 終 了

【 6 】 開 催 場 所

長 崎 県 立 武 道 館

長 崎 県 佐 世 保 市 名 切 町 1 5 6 - 1

J R 「 佐 世 保 駅 」 下 車 徒 歩 2 0 分 無 料 駐 車 場 完 備

【 7 】 参 加 資 格

- 1) J T A 有 級 者 (黄 帶 ・ 7 級 以 上) 、 有 段 者
- 2) 健 康 で あり 、 か つ ス ポ ー ツ 安 全 保 険 (同 上) に 加 入 し て い る 者
(持 病 等 を 隠 し て 参 加 し た 際 、 重 大 な 事 故 は 保 険 金 が お り な い 可 能 性 が あ り ま す)
(*) 契 約 し て い る 保 険 会 社 か ら の 注 意 点
組 手 試 合 中 の 打 撃 の 伴 わ な い 死 亡 事 故 ・ 後 遺 障 害 ・ 怪 我 等 は 保 険 が 適 用 さ れ ま せ ン
例 1) 熱 中 症
例 2) 要 項 に は 「 健 康 で あ る こ と 」 が 参 加 絶 対 条 件 で あ る に も 関 わ ら ず 、
 本 人 が 持 病 を 隠 し て 参 加 し 、 死 亡 事 故 ・ 後 遺 障 害 ・ 各 種 怪 我 を し た 場 合
例 3) 極 度 の 緊 張 で 打 撃 を 伴 わ ず 転 倒 し 、 死 亡 事 故 ・ 後 遺 障 害 ・ 各 種 怪 我 を し た 場 合
例 4) 過 呼 吸 症 候 群 等 の 呼 吸 系 臓 器 の 病 気
命 ほど 大 切 な も の は あ り ま せ ン 。 組 手 試 合 参 加 絶 対 条 件 で あ る 健 康 か 否 か は 日 常 の 練 習 中 、
判 明 し て い る は ず な の で 当 該 責 任 者 は 参 加 さ せ な い よ う に 指 導 し て 下 さ い
- 3) 一 部 組 手 は 4 0 歳 以 下 の 1 級 ・ 茶 帯 (昇 段 審 査 受 験 者 に 限 る) ～ 有 段 者
- 4) 一 部 型 試 合 は 有 段 者 に 限 る 。 な お 、 少 年 少 女 部 の 有 段 者 は 参 加 で き る
- 5) 一 部 少 年 少 女 部 蹴 武 の 型 は 中 学 生 以 下 の 有 段 者 及 び 昇 段 審 査 受 験 中 の 茶 帯 に 限 る 。

- 6) 一部高校生組手、一部中学生男子組手、一部中学生女子組手は、茶帯は参加できる
- 7) 二部組手は、イ) J T A の 1 級・茶帯～有段者
ロ) 過去、1 年以内の J T A 公式戦で入賞経験を有する 5 級・緑帯以上の有級者
- 8) 二部蹴武型は、茶帯～有段者。なお、少年少女部の有段者は参加できる
- 9) 三部組手は、黄帯～茶帯。ただし、優勝経験者は参加できない
- 10) 三部蹴武型は、黄帯～茶帯。
- 11) 四部少年少女部の全試合は、黄帯～茶帯。ただし、小学生有段者は参加できる
- 12) 一部蹴武型団体戦は有段者 3 名で構成。その内 2 名まで茶帯での参加ができる
ただし、茶帯 2 名に関しては昇段審査受験中または予定の者に限る
- 13) 二部蹴武型団体戦（個人対戦）は有級者のみで構成。クラブ事情によりチーム構成が難しい
場合は一名のみ黒帯の参加を認める。ただし、その場合は有級の型を選択すること

【 8 】 試 合 種 目 ・ 表 彰

I 組 手

① 一部組手試合（フルコンタクト・テコンドールール）無差別級組手

- 1 男子無差別級組手 優 勝～三 位：メダルと賞状
- 2 女子無差別級組手 同上

② 二部組手試合（ライトコンタクト・テコンドールール）

- 3 男子有段者軽量級組手（63kg未満） 優 勝～三 位：メダルと賞状
- 4 男子有段者中重量級組手 同上
- 5 女子有段者無差別級組手 同上

③ 三部組手試合（ライトコンタクト・テコンドールール）

- 6 男子軽量級組手（63kg未満） 優 勝～三 位：メダルと賞状
- 7 男子中重量級組手 同上
- 8 女子無差別級組手 同上

④ 四部JTA少年少女部特別ルール組手（ライトコンタクト・テコンドールール）

- 9 少年部丙（小学校 1 ～ 2 年生） 優勝～三位：メダルと賞状
- 10 少女部丙（小学校 1 ～ 2 年生） 同上
- 11 少年部乙（小学校 3 ～ 4 年生） 同上
- 12 少女部乙（小学校 3 ～ 4 年生） 同上
- 13 少年部甲（小学校 5 ～ 6 年生） 同上

- | | | | |
|----|------------|------------|-------------|
| 14 | 少女部甲 | (小学校5～6年生) | 同上 |
| 15 | 中学生男子(有級者) | 軽量級 | (50kg未満) 同上 |
| 16 | 中学生男子(有級者) | 無差別級 | (50kg以上) 同上 |
| 17 | 中学生女子(有級者) | 無差別級 | 同上 |

注意1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、JTA公認胴防具、ファールカップ(男子のみ)を着用しなければならない

注意2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

少年部・少女部組手の1回戦は、エントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、選手双方がルールを守っていれば事故が起こることはあり得ません

参加状況、体重差と身長を考慮し、統合が合理的と認められる場合は主催者の判断により統合(過去の事例) 少女部丙にエントリーした小2女子(体重23kg)1名、少女部乙にエントリーした小3女子(体重25kg)が1名の場合、「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行います

注意3 男子高校生は一般の部に参加できる。ただし、自己責任とします。保護者許可必要

注意4 男・女の中学生組手は、参加人数に応じて有段者の部と統合する場合があります

Ⅱ 蹴武型試合(全種目男女混合)

一 一部蹴武型試合

- | | | |
|---|--------------|--------------------------|
| ① | 一部A級蹴武型 | 優勝～三位：メダルと賞状 |
| ② | 一部B級蹴武型 | 同上 |
| ③ | 一部C級蹴武型少年少女部 | (小中学生の有段者及び、昇段審査中の茶帯) 同上 |
- 注意 参加人数によってはB級と少年少女部は統合する場合があります

二 二部蹴武型試合

- | | | |
|---|---------|--------------------------|
| ④ | 二部蹴武型試合 | (有段者、有級者、男女混合、年齢制限無し) 同上 |
|---|---------|--------------------------|

三 三部蹴武型試合

- | | | |
|---|---------|-----------------------------|
| ⑤ | 三部蹴武型試合 | (優勝経験のない有級者、男女混合、年齢制限無し) 同上 |
|---|---------|-----------------------------|

四 少年少女部蹴武の型試合(有級者、男女混合)

- | | | |
|---|--------|----------------------------|
| ⑥ | 小学生低学年 | (3年生以下、未就学児可) 優勝～三位：メダルと賞状 |
| ⑦ | 小学生高学年 | (4年生～6年生) 同上 |
| ⑧ | 中学生 | (非有段者に限る) 同上 |

注意 蹴武の型試合は、体格・年齢による差異はないので統合する場合があります

Ⅲ 蹴武型団体戦

- ⑨ 一部蹴武型団体戦 優勝～三位：メダルと賞状
- ⑩ 二部蹴武型団体戦（個人対戦） 同上

【 9 】 試合ルール等

注意 1 計量は1回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない

自己流の減量は極めて危険なため無理な減量は禁止。死亡事故防止

注意 2 すべての種目は、一定数のエントリーに達しない場合、統合する

参加者（未成年者の場合は保護者）は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーすることはできない。中学生型と小学生高学年型、または小学生高学年型と小学生低学年型を統合する場合もある。

一 組手試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

- ①一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）
- ②二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール
- ④ JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

1 試合時間、判定基準等

1) 試合時間

- ①一部（一般および高校生）・二部・三部 本戦2分 1R

延長戦2分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする

- ②中学生 本戦1分30秒 1R

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする

- ③少年少女部 本戦1分 1R

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする

2) 減点2、又は注意4で「失格」とする

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点1とする

6) その他

本大会は、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会同等記録会予選会のため、同大会のルールに準ずる。ただし、予選会における蹴美審判は1名とする

主審は注意4、反則2（注意2で反則1）、または審判や相手選手を侮辱する選手の言動など、武道家らしからぬ試合態度に対し、厳しい態度で臨み失格を宣言できる

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

- ① 一部A級 J T A A級蹴武型ルール
- ② 一部B級 J T A B級蹴武型ルール
- ③ 一部少年少女部 J T A C級蹴武型ルール（選択型は有級者の型、及び柳韓）
- ④ その他 J T A C級蹴武型ルール
- ⑤ 一部蹴武型団体戦

- 1) 参加資格は個人戦と同じ
- 2) 申し込み時の注意
 - ①参加クラブは、団体戦メンバー表を事前に提出しなければならない
エントリーした選手が病気等やむを得ない事情で欠場した場合に限り、当日変更を許可する
 - ②団体戦のみの参加でも、個人種目出場選手同様に大会参加申請書を提出しなければならない
一部団体戦は3名でチームを編成し参加できる。なお茶帯は2名まで可能
 - ③団体戦は男女混合、少年少女部混合も可とする。年齢性別制限なし
- 3) 試合進行
 - ①型団体戦メンバー表には演武する予選の型、決勝戦の型を事前に通知しなければならない
 - ②型団体戦は予選を行う。上位2～3チームの中から選抜し、決勝を行う

⑥ 二部蹴武型団体戦（個人対戦）

- 1) 個人戦C級ルールに準ずるものとする
- 2) 選手は3名が先鋒、中堅、大将として試合を行う
- 3) 試合毎にオーダー表を提出することとする
- 4) 延長戦は行わず、対戦で勝利数が同数となった場合は旗数で判定を行う
旗数も同数の場合は代表戦を行うが、この場合は主審が指定した型を演武する
- 5) ルール上で想定していない事が生じた場合は大会会長が裁定する

【10】大会出場申込

2025年 6月3日（火）迄（当日消印有効）

参加費用 1種目 ￥4,400

2種目 ￥5,500

3種目 ￥6,600

1、参加費振込先

〔ゆうちょ銀行から振り込み〕 1 7 6 6 0 — 2 4 0 6 4 3 3 1

〔ゆうちょ銀行以外からの振り込み〕

ゆうちょ銀行 店番 7 6 8 普通 2 4 0 6 4 3 3

〔 名 義 〕 長 崎 県 テ コ ン ド ー 連 盟

- 注意 1 審査受験者は、試合参加費と審査受験料をあわせて振り込みする事はできません
審査費用は所定の振込先へ振込ください
- 注意 2 家族会員は、個々の試合参加費を合わせて振り込みすることはできます

2、申込書送付先

〒857-0335

長崎県北松浦郡佐々町皆瀬免 1 1 8 6 - 1

長崎県テコンドー連盟 会長 廣川 禎教 殿

【 1 1 】 大会役員

日本テコンドー協会会長	河 明生	
大会会長	廣川 禎教	(実行委員長、審判部長兼任)
審判	北川 弘幸	守田 典男
実行委員	福島 成勇	市瀬 実里

【 1 2 】 注意事項

- ① 試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です
- ② 電話やFAX、試合申込期限を超えた試合の申込みは受け付けません
- ③ 所属クラブ長に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい
- ④ 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません
- ⑤ 試合当日の参加費支払いは一切受け付けません

⑥ 各種保険証の現物を持参して下さい

骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることになりますので、各支部は病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい

- ⑦ 当該会場体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています
各クラブは「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館・武道館内は禁煙です
- ⑧ ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください
武道館および大会主催者は一切責任を負いません

【 1 3 】 観覧

すべての観覧者の希望を歓迎します（無料）。ただし大会関係者の指示に従ってください
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場してもらいます
武道館が定める飲食禁止場所以外での飲食や喫煙、違法駐車は禁止します

【 1 4 】 その他

保険契約、表彰状等を準備しているため台風等の自然災害の場合は、返金できません。

⑩ 二部

蹴武型団体戦エントリー選手名簿

（＊）団体戦参加者の中から代表して 1 枚提出

いずれかに○をつけること

一部蹴武型団体戦・二部蹴武型団体戦（個人対戦）

団体名

責任者氏名

選手氏名	段位・級位	年齢
1	段・級	歳
2	段・級	歳
3	段・級	歳
補欠	段・級	歳

一部蹴武型団体戦

予選型

決勝型